



奉天の占領

れた此してより名々の價值あるや言迄なり  
吾人は之の名譽あるが爲に戦闘に参加して身命を  
全したる我が將卒の功勳を感謝し、併

見す爲に我は白銀盤上に暴露して敵の砲鎗彈を浴びつゝ敵陣に迫らす

人口六百九拾四戸數

の二十餘戸ありて近々移住の筈なるが昨今の本邦漁船の寄航するもの多く頗る賑台を隆興宛然本邦漁港の觀あり又數年前當港に於

染病豫防其他の件に關し協議すべしと  
鶴の鑑詰は如何 昨年は暖氣を冬期  
に見たりし爲め該鳥の發獲甚だ宜しから

燒御見舞

西町二丁目  
廣田釀造場



佛蘭西騎兵の袍

都下の下士に例つて、  
「誰か違ふれたのか。」  
「御野郎等兵の形が額にヒエミソの彈丸  
受けた計りでです。」  
それぢや、金野郎は自分と二所に引ける  
「おれは、此處は佐野と云へて、おれは、  
の前哨に連なる間の偵察をして來た。」  
此命令によつて三騎は、額の額を立直して  
行と別れた、それから直に馬路の首も聞  
きなつて、それから世界中大佐と英國  
官とは、馬を急ぎ、城野郎兵を引連れ  
直に、城野郎の額を引つて、腹をさせた  
人は、直に、城野郎の額を引つて、腹をさせた  
人は、直に、城野郎の額を引つて、腹をさせた

されなつてゐたのである。  
水筋に暗が差を働いて此男を救ふ英國士官は貴族であつて此向は「エリントン」將士の爲めに山間の偵察に服せられたのである事も亦つた。其名の渡戸勇雄は、何れも二人は愛すべき西班牙の流布の下で遇つて行く内に恰も兄弟の如く親しくなつた。  
二人は殆んど同年輩で、幾れ経典英士官（渡戸勇雄は開隊兵第十六聯隊である）開隊士の希望と有てゐるのである。彼等は短間に、人の心中を解した事、渡戸は、敵の如き場合は食つて無いためであつた。英國士官は置かれて結婚の女の事を語り、日本は、日本を愛する事、

それかと思ふと、人は佛國の鐵廠主と英國の軍艦兵の隊方に就いて烈しく口論を初め、  
に危なく喧嘩にならうとしたが、若し第三國  
隊に出資する事があつたらぬとして、君の不義  
は云へない」と世良田の言ふのに對し彼曰く「  
口を先失ひ兩手を叩いて遂に劍の箱に手を入  
れた」。

文の語は英國の諸國の事に移つて發句は公使  
官の大金銀を失つた事を懸念して、其  
を奪つたものゝ猶がさくらが強いかに云ふ事

すには巧みであるそれで賭をして一つ餘計に発見したものは二十五六の金を得た云々と言出したのであつたが、彼等山賊は自分の財宝は山賊に奪られて盡く取戻して來なかつたと言辭けるする迄は其新發明の賭博を遣らうと主張して止まなかつたのである。

二人は居るおぼしき所の、船を逆巻つたか、最早東へ天紅と見ゆる頃になつて不意に其行舟に當つて一着射撃の音を聞いた。此邊の道路は非常に險惡であるに俾らず此機銃では兩軍の大衝突を惹してゐるのであらうと見出し出たのであらうが波戸は是を聞いて打笑つて言ふには、此英國の砲臺に近い證據で我々の方では毎朝早く一度宛一着射撃をして、砲臺の發火を確むのである。

●賣藥の信用 不正なる奸商往々賣藥を行商して華人の信用を失墜するは今韓國國の發展に甚だ注意すべきなり北韓の地の如き未だ之れが悲觀的現象を呈するも南韓の

如き甚だしきものなり故に此際一層同業者  
 の慎重なる態度を要す云々其某樂商の談  
 ●廣田燈台場  
 是迄酒場三丁目に於て牛  
 樂などつゝあり廣田氏は今四一層樂の  
 擴張を期り全町二丁目荒木酒場跡を引受け  
 移轉し酒類の四季隨逆販賣を開始し尙往來  
 の如く山印燈油の鐵國一手輸入販賣及鐵  
 雜貨の販賣をも爲し大に實業界に活動せん  
 との事なり  
 ●阪倉氏の出来  
 巨濟崎漁業根據地監督  
 阪倉浩氏數日前來釜今明日を以て歸任の幸  
 なり  
 ●彰武館の柔道會  
 同館に於て奉天警察  
 の親道を授せん爲め  
 相山町廣場に於て

●昨、同間の委員会を設け、  
●委員は野矢、佐賀市、市役所の長中は今  
●明日、狂狷、刺殺、暴徒、花々、一港内を  
●通り廻る由にてより、相撃すなり

## ●天商店訪問記

▲天商店(幸町)

●天商店を業とする傍ら、該品を販賣商店と  
●商人高橋氏の夫人應接せらるゝ製造所の方は  
●例年の如く休場となりましなかつた日です  
●軍用詰着ですか、今ならなかつたのですを詰  
●頭に昨年より輸入し発售の爲め陳列も非常  
●に整頓されて語らるゝ天商店の各品納商店  
●に宛てて書いてある書簡、納商店の各品

●大商店訪問記  
(南)

れ来りたり。夫も追々農事の改良と共に當分の間に於て其出来るに、至らんと云へられ、これより諸州視察等をも附親されたり店主は常流有力の實業家也

二羽鶴 澤島と專賣する長好商店を訪ふ店主は目下、満座にあり而會を得ず臺灣の官界にあつしといひ、春前某氏に會見す曰く「貴客商人で無難いまいせん、でお話致す事も出来ぬ次第ですが二羽鶴や清鶴の感嘆には兄も非常に骨を折つた方です兄は那邊まで、その地の酒を専賣とし大發展する意見を持つて居るかと想ひます云々と語らる。

フミ

あゝの今年は年初午ですから皆さん餉料御用銀を願ひます(注意生々茶山の道路は不潔なり早く修繕して欲しいめく) オイ、浮いた資質して居る手前通ちじやあるう、本報社會の時なん陰曆の届定は止してくんば是れ少と謀まね

天竺の王子がバカ殿の愛の信物なぞ。△○○○縁詰船主風紀整風の兆あり現に地方の如き工女と舞姫さん遊みながらアツて着うた所長たるもの眞実に取地下を取締らんと事業上の影響を及ぼさん洋學生さん婦人の癖にコメナを食はんお付けやがって高擧げ取る奴が某町に産む生意氣千萬(△△生一△其の辨費爾等提議取締りゆる小傳△龍虎高潮の△△事と云ふ人富港に住住し居らるゝや御存じの方は、關法憲度年々貴紙掲載の佛蘭西國產の花笠に面白くて毎日配達くるのを待ちきれないです如何の代玉に續續して陛下の(愛嬌者)

相 場

昨日日曜日にもあり殊に華天陪賓祝賀會を舉行せられたる事で表通り商店は多く取引をや休めたるを西風非常に吹き荒み道路は日も開かれ雨の有様なし且又田中行中の相模成は芝居、夫々に出掛ると云ふ觀梅にて市中人は出で遊ぶに隨て猪欄横と混雜りなるも稍ともすれば正米始の賑無貨其に下押し傾向あるは内地の不景気に伴はるゝ自然の結果なり而して雖に本年を上占したる快報に接し海には新嘉坡以東の索敵運動を終りたる我が故郷なる勢力英米に於ける我國商賈を確實に活躍さしむ可い我輩漁民は倍も穀米市場に歡迎せらるべく殊に内地に在ては巴に花の季節も迫た活氣は昨更に余漸次沈寂したる景氣も追々活氣を呈すべしと記者の豫想と共に一般活氣を呈すべしとは記者の豫想と共に



「は、商人で、無能じゃせん、で、お話を致す事  
出来ぬ次第ですが、二羽鶴や浮城の據張に  
は、兄も非常に骨を折つた方で、す兄は肝過  
ぎり、此の酒を専賣とし大朝展する意見を持  
つて居るかと思ひます云々と語らる。

居る手前<sup>エまへ</sup>通<sup>とほ</sup>ちじやあるう<sup>う</sup>。祝<sup>いわ</sup>集<sup>しふ</sup>會<sup>かい</sup>の時<sup>とき</sup>なん  
 男<sup>おとこ</sup>の品<sup>しな</sup>定めは止<sup>とど</sup>めてく<sup>く</sup>んねえ少<sup>せう</sup>と護<sup>ご</sup>まね

女と有婚するにせよアツて短丁の所長た  
るものゝ下丁を取替へんと事業を以て構  
と及ばん分(性善)を嫁入人の郷にコソナ  
ク大かんで付けやがて番擧げぬ奴か某  
町に居る生業千五匁▲生▲其の病貧  
窮者、糧食取盡しやう小僧▲肥後高瀬の  
有とのお方は本國産産度生▲貴族馬鹿の來  
佛郎蘭紙の仕賣に面白く毎日配達の來  
ぬのを待ちあられなみです如何の代さずに續  
けして被下い(愛嬌者)

相

昨日日曜日にもあり、殊に奉天陷落慰勞會を舉行せられたる事と表通つて商店は多く取引を休めたるを以て西風非常日に映へぬが道理なりとも聞かれない有様ならし目下興行中の相模橋には芝居・夫々に出ておける云ふ難儀にて市中には人出で乏しく圍て諸君の買物難なりと申す。然しながら内陸の不景氣に仲はち／＼自然結ばれ而して陸地には奉天を占領したる快報に榮耀し海には新嘉坡方面の索敵運動を終りた我が威大なる勢力英米に於ける我國國威を痛切に品斷ぜむ可く我雄實地は倍と數も市場に歡迎せらるべく殊に内地に亘ては已に北の季節も近かりは昨旦以來新天沈美しに北の季節も追々活氣を呈するべく既に韓國に於ける商業に及んでは一層好氣を逐ゆるは常然の火勢故技を留まらずの幸にして賜意と共に一炊粒故を望まずべしとの記者の豫想なり

必勝ノ軍容ハ衆國一致ニシカズ  
 舉國一致ノ美ハ我日本魂ニレカズ  
 責任醬油發賣廣告  
 本邦固有滋養品  
 備後鞆町中村吉兵衛釀造  
 責任醬油ハ本國自家釀造ノ特  
 有品名也

責任醬油 氣味清香 入口不膩 喉無餘夏 寒冷ノ候ニ至リ 喉味酸 腹ノ裏ニ浮カセ 肝ノ患更ニ無キカ特色

責任醬油 ナリ

責任醬油 此比較の安値ナルハ 他ニ比較シタルニ 御注文伏シテ希上候

責任醬油 色其各牌アリ

特製後特産織

一十六味地黃保命酒

一味淋酒

一燒酎

一白煉酒

責任醬油  
並梅干漬大根漬  
右卸小賣大勉強販賣  
仕餐間多少不拘御用命被仰付度且御  
戶躰子親安價販賣  
並酢備後聲表同新疊

美ノ品ニ付續々御買求ノ程奉希上候  
 韓國釜山入江町十七番地  
 大池旗熊英  
 增永支店  
 美ノ品ニ付續々御買求ノ程奉希上候  
 韓國釜山入江町十七番地  
 大池旗熊英  
 增永支店

大坂阪急線通安寺町四丁目七番地  
 森田商店  
 電話九四七  
 色特の店本の強効利薄


  
 商標  
 寫真  
 直輸  
 入出  
 種名品藥材原城唐  
 入出  
 直輸

專賣局指定煙草輸入元  
 きりん印刷煙草製造國發賣元  
 歐卷各  
 米煙種  
 雜草刻  
 景品付  
 キリン貰  
 新のた、製造賣買  
 並み、表縁商  
 西町三丁目  
 丹原商

<p>滋養牛肉ソツプ 南蛮二十八番</p>	<p>平田秀吉 (代取合)</p>	<p>陸軍御用金山礦諸所共製品</p>	<p>釜山令 齊藤支店 幸町 電話一四四</p>	<p>同 大池回清 荷客取扱所</p>	<p>日東丸 三月十八 三月十四</p>
---------------------------	-----------------------	---------------------	------------------------------	-------------------------	------------------------------

大阪商船汽船釜山出帆廣告  
 船曾社  
 安東丸 三月十二日  
 二見丸 三月十六日  
 義州丸 三月十九日  
 仁川鎮南浦行  
 池田汽船仁川行  
 田松前丸 陽曆三月十四日  
 元山行 三月九日  
 幸光丸 三月十一日  
 野村汽船群山仁川行  
 田寧靜丸 陰曆二月十六日  
 全全 二月一日  
 正月一日

仁川行	●ハイキンク	三月十四日
下關神戸大阪行	●アモイ號	三月九日
	三月十二日	
●漢城丸	三月十五日	
●蒼龍丸	三月十六日	
●川丸	三月十七日	
●大阪湊船釜山出帆	三月十八日	

下關神戸大阪行

● ハイキンク	● 東丸	● 群山丸	● アモイ丸	● 琴平丸
三月廿四日	三月十七日	三月廿二日	三月十九日	三月十八日
● 大有丸	● 崇敬丸	● 神代丸	● 太湖丸	
全全	全全	湯陰	三月十五日	
三月三日	三月十八日	三月十四日		

●二見丸  
三月廿六日

義州丸  
三月廿九日

原辰長崎博多下關神戸大坂行  
三月十七日

●手取川丸  
三月十七日  
午後十時出帆

●義州丸  
三月十二日  
二月六日

●永田丸  
三月十四日  
陰月日

●錦龍丸  
三月  
行日

大池回漕店  
大坂・船川丸  
氣船出帆廣告

懷船釜山出帆廣告

**瑞鷺丸** 仁川野田間每週  
三回往復  
仁川行

**大阪商船株式會社**

釜山出帆廣告

定期運送  
**若津丸** 午後六時  
三月十三日  
嚴原津(上州) 尾道二連路ス  
庄上岡地方

● スルベルク號  
二月 日

● マリニック號  
二月 日

● 四共同丸  
三月十五日  
馬關神戶大阪行

荷客取扱店 國中商店  
 入頭司 釜山出帆廣告  
 萬歲丸 三月廿日 木浦三川行  
 陽丸 三月廿日 馬山施行  
 申午百二時出帆  
 荷物、切午前十時

<p>●●京畿丸</p> <p>三月十八日 二月十八日 三月十八日</p> <p>元船東坂店</p>	<p>●●慶尚丸</p> <p>三月十八日 二月十八日 三月十八日</p> <p>元船東坂店</p>	<p>●●馬庄浦丸</p> <p>三月十八日 二月十八日 三月十八日</p> <p>元船東坂店</p>
<p>●●八頭司船船部</p> <p>三月十八日 二月十八日 三月十八日</p> <p>元船東坂店</p>	<p>●●入頭司船船部</p> <p>三月十八日 二月十八日 三月十八日</p> <p>元船東坂店</p>	<p>●●八頭司船船部</p> <p>三月十八日 二月十八日 三月十八日</p> <p>元船東坂店</p>
<p>●●八頭司船船部</p> <p>三月十八日 二月十八日 三月十八日</p> <p>元船東坂店</p>	<p>●●入頭司船船部</p> <p>三月十八日 二月十八日 三月十八日</p> <p>元船東坂店</p>	<p>●●八頭司船船部</p> <p>三月十八日 二月十八日 三月十八日</p> <p>元船東坂店</p>
<p>●●八頭司船船部</p> <p>三月十八日 二月十八日 三月十八日</p> <p>元船東坂店</p>	<p>●●入頭司船船部</p> <p>三月十八日 二月十八日 三月十八日</p> <p>元船東坂店</p>	<p>●●八頭司船船部</p> <p>三月十八日 二月十八日 三月十八日</p> <p>元船東坂店</p>

店  
 元山行  
 慶  
 元山行  
 慶  
 元山行  
 泰  
 元山行  
 正  
 成  
 丸  
 本町海店郵便局  
 仁川群山間城海中  
 陽 三月十四日  
 陰 三月九日  
 月 月 日  
 舊二月十三日  
 元山行  
 防  
 長  
 丸  
 元山行  
 浦  
 門  
 丸  
 荷客取扱店  
 三木回漕店  
 三月十八日  
 三月十六日  
 瀛船釜山出帆廣告

家屋は新築清潔  
 眺望は日光明媚  
 強勉旅館  
 取扱は親切丁寧に  
 京釜鐵道沿線  
 三浦津河岸  
 龜屋